

11・15(月)

午後6時半・エルおおさか501(参加カンパ500円)



香港・グローバリゼーションモニター
アウ・ロンユー(區龍宇)さんに聞く

「世界の工場」(中国)で 労働者の反乱が広がっている

中国の急激な経済成長を支えてきた労働者たちが、低賃金や長時間労働、劣悪な労働環境に対して、次々と闘いに立ち上がっています。ホンダ、パナソニックなど日本企業でもストライキが繰り返されています。労働法改正や労働組合の民主化などの要求も掲げられています。香港で中国の新しい労働運動に注目し、支援してきたグローバリゼーションモニターのアウさんが来阪される機会に、最新の状況、労働者の意識の変化、これからの展望、そして日中労働者の連帯のための課題について討論したいと考えています。

グローバリゼーション・モニター：香港で1999年以来、新自由主義や巨大多国籍企業の負の影響についての民衆教育、労働・女性・消費者・マイノリティの権利と自然環境保護などに関する法律の制定、自立的な社会運動の発展、政治と経済の民主化を目指して活動。2005年に香港で開催されたWTO閣僚会合への抗議行動や、中国の労働運動支援、特にGP電池によるカドミウム被害労働者への支援などで積極的な役割を果たしてきた。

主催 11・15交流会・実行委員会

連絡先 APWSL(06-6352-9619 ゼネラルユニオン)/ATTAC 関西グループ(06-6474-1167 喜多幡)